

令和6年度
すくわくプログラム
活動報告書

とちの木保育園

ポニーとあそぼう

設定理由 : 自然、動物への興味関心をもっているため

活動のねらい : ポニーとのふれあいを楽しみながら、動物を可愛がりながら命のぬくもりを知ったり、好奇心を育んだり、豊かな感受性を促していく。

対象クラス : 4・5歳児クラス24名

スケジュール : 令和6年4月～令和7年3月(計6回)

5歳児はポニーのブラッシング。
どうしてこんなに毛が抜けるのかな？
ポニーさん、気持ちいい？
この毛を集めて、カラスが巣を作るという
話も教えてもらいました。



4歳児はポニーのえさやり。

今日はどの子が来たかな？子どもたちは赤ちゃんの頃からポニーに触れ合っています。

「かわいいね」と手をグーにして1本ずつエサを持ち、ポニーに食べさせます。

エサをあげながらも「フサフサだね」と毛をなでたり、ポニーが鼻を鳴らすのにびっくりしたり！



5歳児は手綱を持ってポニーと一緒に歩きます。
手綱の持ち方、どうしたら安全に歩けるか教えてもらいました。
ポニーと気持ちを合わせて「よし、行くよー！」
ポニーがエサを食べに行きたくなっても、「こっちだよ！」
と子ども達がなんとか引っ張る場面も。



4歳児は地域の方と一緒にポニーのエサやり。

今まで「こわい…」と言っていた子も、そーっと自分でえさやりができて大喜び！

「ポニーの耳がピクピク動いているのはなんでかな？」 「好きな音があるの？」

「敵が来たらすぐに逃げられるように？」 「耳は下にも向くの？」 疑問がたくさんです。



3月には、ポニーがたくさんいる牧場へ遠足に出かけました。いつも保育園にくるポニーよりも大きいポニーもいて、全部のポニーにエサやりしたり、たくさんのおんちを友だちと協力して片付けたり、ポニーに乗せてもらったり…。

ポニーが何頭も自由に遊んでいるところも見せてもらい、芝生をゴロゴロしている様子に「ぼくたちと同じだね!」と笑っている子ども達でした。



振り返り

・小さい頃からポニーと触れ合う中で、ポニーの様子を見ながら自分でエサやりをしたり、触らせてもらったりしながら、生き物のあたたかみやかわいらしさを知っていった。5歳児は触れ合う度にポニーに関する疑問がたくさん出てきたが、自分達で「なんでかな？」「～だからかな？」と考え、牧場の方に聞いたり実際のポニーの様子を教えてもらったりしながら、知識を養っていった。遠足ではたくさんのポニーのお世話をし、自分たちも役立てる喜びを感じていた。